

# 2017 えがお愛顔つなぐえひめ国体



第72回国民体育大会 君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え



## TEAM FUKUOKA

「チーム福岡」福岡県選手団サポートニュース

## NEWS

10月4日 Vol.3

### 第72回国民体育大会 「Team福岡」上昇中!!

## 大会3日目が終了 16種目入賞と大健闘!!



### 男子7人制ラグビー 初の3位入賞!



予選リーグを全勝で通過した福岡県は決勝トーナメントの1回戦、北海道に手堅く勝利し、地元愛媛との準決勝に臨んだ。完全アウェーの中、児玉涼選手の2トライなどにより前半リードで折り返し、後半は堅守によりリードを保ったまま、ラスト1プレーを告げるブザーが響いた。

両チーム必死の攻防の中、最後は、地元の大声援を受けた愛媛が逆転トライを決め、勝利を目前にしての敗戦に、福岡県選手は肩を落とした。しかしながら、渡邊敏行監督以下チームスタッフのサポートにより、見事3位決定戦に勝利した。高校、トップリーグと「ラグビー王国」と言われる福岡だが、男子7人制入賞は国体採用以来初の快挙である。福岡のラグビー史に「男子セブンス」が新たな歴史を刻んだ。

4日(水)からは女子の戦いが始まる。正式種目となった昨年は3位という成績だった。初代女王を逃した悔しさを是非とも晴らしてくれることに期待したい。



初の3位入賞を果たし笑顔の選手達

## 山岳競技 少年男子・成年男子入賞!

1日(日)から3日(火)までの3日間、西条市西条西部公園で行われた山岳競技で見事入賞を果たした。山岳競技はリード競技、ボルダリング競技の両競技ともに2人組で行われる。

少年男子は、1日のリード競技で、惜しくも2位となったため、ボルダリング競技では何としても優勝をと臨んだが、惜しくも4位。しかし両競技で上位入賞というすばらしい結果を残した。雪丸周平選手は、「中上太斗選手にずっと引っ張ってもらっていた。来年度出場出来たなら、もっといい結果が出せるように頑張りたい。」と、すでに来年度に目を向けていた。

成年男子にも期待がかかったが、リード競技5位、ボルダリング競技7位と本来の力を発揮出来ずに、悔いの残る試合となった。緒方良行選手は、2020年東京オリンピック競技大会出場を狙い、多くの世界大会に出場しているだけあって、時折会場を盛り上げる場面も数多くあった。来年こそは、優勝を掴み取って欲しい。今後の世界大会も目が離せない!!



少年男子チームの様子

# アーチェリー競技 成年女子団体6位入賞！少年女子団体決勝進出！



今治市宮窪石文化運動公園でアーチェリー競技が行われた。少年女子、成年男子、成年女子が出場。雨と風の強いなかで行われた予選を勝ち抜き三種別ともに決勝トーナメント戦に進出。会場は一本矢が当たると「ナイスショット」と大歓声上がる盛り上がった雰囲気だった。

成年男子はトーナメント1回戦で惜しくも長崎に敗退。成年女子は岡山に勝利し続く準々決勝で岩手と対戦、惜しくも敗れたものの、6位入賞を果たした。

少年女子は地元愛媛の大応援団の大声援にも負けず、見事に勝利し準決勝に進出、準決勝も静岡との接戦の末、勝利を手にした。矢原七海選手は「緊張したけど福岡県チームの応援の雰囲気が良く、楽しく打てました。」と周囲の雰囲気の重要性を語り、小田楓恋選手は「午前中の雨の影響で、風が強かったけどしっかり狙い通り打てました。」と天候に左右されず自分の力を発揮できたようだった。また、野田紗月選手は「少し狙いが定まらなかった。勝利出来て良かった。」と反省しながらも、勝利を喜んだ。中島克哉監督が「必ず優勝する。」と力強くコメントしたアーチェリー少年女子から目が離せない。



アーチェリー競技少年女子



## Team 福岡の現在状況と今後の展望

10月3日(火)終了現在、福岡県は前日から約200点獲得し、8位から1つ順位を上げて7位となった。6位の北海道、8位の長野とともに点差が約40点であり、4日の結果次第でまた大きく順位が入れ替わる可能性がある。

4日に行われるすでに8位以内入賞を確定させている競技には、卓球少年女子準決勝・決勝、テニス成年男子・少年男子ともに5・6位順位決定戦、バスケット少年男子決勝、自転車女子・少年男子ケイリン決勝、ラグビー少年男子5・7位順位決定戦、カヌー少年男子ヌ・スプリット・ kayakシングル(200m)決勝、少年男子ヌ・スプリット・ kayakフフ(200m)決勝、アーチェリー少年女子団体決勝、ボウリング少年女子団体決勝などがあり、高得点獲得が期待される。

現在の順位を死守し、さらに上位進出するためにも継続的な選手団の活躍に期待したい。

男女総合成績(天皇杯)		10月3日終了現在		
順位		都道府県名	得点	昨年度順位
1位	➡	東京	1304	1位
2位	⬆	愛媛	1171.5	7位
3位	⬇	神奈川	919	8位
4位	⬆	埼玉	864.5	3位
5位	⬆	大阪	831	6位
6位	⬇	北海道	812.5	9位
7位	⬆	福岡	772.5	13位
8位	⬇	長野	734	19位
9位	➡	愛知	731	4位
10位	⬆	福井	662	18位
11位	➡	岩手	647	2位
12位	➡	兵庫	642	11位
13位	⬆	千葉	623.5	5位
14位	⬇	岐阜	583.5	10位
15位	⬇	秋田	565	37位
16位	⬆	栃木	556	30位
17位	⬇	京都	551.5	12位

【各競技入賞者】(10月3日終了時点)

競技名	種目	名前	所属	順位
バスケットボール	成年男子			3位
セーリング	成年男子470級	磯崎・金子		2位
	成年女子団体ウインドサーフィン級	山辺 美希	サガミ	8位
	少年男子420級	小柳・倉地		2位
自転車	少年男子スプリント	梶原 海斗	祐誠高等学校	4位
	少年男子ポイント・レース 決勝	兒島 直樹	祐誠高等学校	1位
	少年男子スクラッチ 決勝	宮川 大和	祐誠高等学校	6位
卓球	成年男子			5位
	少年男子			5位
ソフトボール	少年女子			5位
ライフル射撃	成年男子 センター・ファイア・ピストル(60発、決勝20発)	緒方 真太郎		5位
ラグビー	成年男子(7人制)			3位
山岳	成年男子リード決勝	緒方・名嶋		4位
	成年男子ボルダリング決勝	緒方・名嶋		7位
	少年男子ボルダリング決勝	中上・雪丸		4位
アーチェリー	成年女子団体			6位
なぎなた	成年女子試合			8位

国体の情報については、大会ホームページ (<http://www.ehimekokutai2017.jp/>) より、ご覧ください。

※Facebook においても情報発信を行っています。「ふくおかスポネット」で検索してご覧ください。

【発信元】福岡県立スポーツ科学情報センター スポーツ推進課 企画情報係